



2003 ~ 2004 年度  
R I テーマ

# Lend a Hand 手を貸そう

四つの重点分野：貧困・健康・識字・ロータリーファミリー

Lend a Hand

国際ロータリー会長 ジョナサン B・マジリアベ(国籍・ナイジェリアカノ)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
 ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間  
 TEL 23-1111  
 事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
 〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
 〒874-0931 FAX (0977) 23-9019  
 http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
 E-mail:beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事 森 宗明 理事 鳴海淳郎 役員 会長 後藤 隆 S A A 中島澄人  
 " 村津忠久 " 溝部 仁 副会長 森 宗明  
 " 後藤健介 " 椛田健治 幹事 小川雅代  
 " 河村貴雄 会 計 岩尾昭治

VOL . 16 - 39  
2004年5月11日

## 第 727 回 例 会

編集 中島 澄人

点 鐘 12 : 30

体 操 自律神経強化体操

国 歌 君ヶ代

R . S . 新四つのテスト

唱 歌 茶摘み

B . G . M . 「日本フィルできく  
 美しい日本のうた」より  
 夏の思い出  
 われは海の子  
 初恋 他

ゲ ス ト 遠 藤 洋 太 郎 氏  
 (株さとうベネック 代表取締役副社長)

会長の時間 会長 後藤 隆

とうとう5月になりました。今期もあと2ヶ月  
 足らずです。なんとか病気にならずには終えること  
 ができそうです。できるだけストレスをためず、  
 楽しい例会ができるように努めたいと思います。

幹事報告 幹事 小川 雅代

- ロータリーの雑誌月間 -

1 . 本日の卓話

『物の値段に想う』 えんどう ようたろう  
 遠藤 洋太郎 氏

### 出席報告

委員長 佐藤 民子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	17 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
欠 席	欠 席 数	6 名
	出 席 率	73.91 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	82.61 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
4/20	修 正 出 席 率	100 %
連 続		4 回
通 算		662 回 100 %

### ・メイクアップ

事前

事後 河村(別府)

欠席 平野、岩尾、椛田、河村、小川、大島

### 2 . 本日のゲスト

えんどう ようたろう  
 遠藤 洋太郎 氏

(株さとうベネック 代表取締役副社長)

3 . (財)ロータリー米山記念奨学会より森 宗明  
 会員に米山カウンセラーの委嘱状が届いております。

4 . 4月28日(水)12:00~ホテル白菊・がり



ように於いて「ソフトボール大会記念記録誌発行第4回実行委員会」が開催され、当クラブを代表して森 宗明会員が出席されました。

5. 5月10日(月)12:00~竹の井ホテルに於いて「別府市内4RC会長・幹事会」が開催され、後藤 隆会長、小川雅代幹事が出席されました。

#### 6. お祝い

結婚記念日 葉真寺章三会員(5月11日)  
\*ご自宅にお花が届きます。

#### 7. 例会変更のお知らせ

大分臨海RC 5月17日(月)の例会は、親睦家族会(バス旅行)の為5月16日(日)12:30~「呼子・唐津」に開催日・場所変更  
\*サイン受付は5月17日(月)18:00からとなります。

大分RC 5月18日(火)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~大分全日空ホテルオアシスタワーに時間・場所変更

中津平成RC 5月20日(木)の例会は、向笠公園清掃例会の為 同日12:00~諭吉茶屋に時間・場所変更

大分臨海RC 5月24日(月)の例会は、親睦夜の例会の為 同日18:30~「皿皿些」に時間・場所変更

大分東RC 5月27日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~「丸福」に時間・場所変更

日出RC 6月1日(火)の例会は、創立20周年記念式典の為5月30日13:40~別府湾ロイヤルホテルに日時変更

8. 本日例会終了後、13:40~「第11回定例理事・役員会」を開催致します。

#### 9. 次週の予定

「会員卓話」 平野英壽会員

#### 10. 本日の回覧

ロータリー100周年のロゴ記念品(オクトン)希望購入

#### 11. 本日の配布

ロータリーの友5月号  
ガバナー月信5月号  
週報726号

「ロータリーの今後は組織的發展と共に精神的發展にある」(R情報委員長:鳴海淳郎)

#### スマイルボックス 委員長 村津 忠久

後藤会長

遠藤さん、卓話をよろしくお願ひいたします。

上妻会員

遠藤さん、本日はお忙しい中、卓話をお引き受け頂きまして有難うございました。よろしくお願ひします。

津末会員

本日のゲストの遠藤様の卓話、楽しみにしています。大分銀行にいらっしゃる時には、会社が大変お世話になりました。今後共宜しくお願ひ致します。

吉富会員

㈱さとうベネック遠藤副社長様の卓話を楽しみにスマイル致します。

葉真寺会員

遠藤さんのお名前は、叔父からよくお聞きしていました。本日の卓話楽しみにしてまいりました。

追加、本日のお祝ひみてビックリ、今日は結婚記念日でした。あぶないところでした。

後藤(健)会員

ここ数回、例会を欠席いたしました。申しわけございません。

今回、別府市議会内に議会改革検討委員会を設け、副委員長として取組んでいます。議員の定数を含め72項目に挙がっています。一番肝要なのは、議員個々人の資質の倫理感の向上にあるのですが、ここが一番難点です。

全員ロータリークラブに入会し、奉仕の精神を身につけるのが、一番の良策なのですが...

近藤会員

つるりん通りにOPENした居酒屋・食欲気分が5月8日で一年を迎えました。やっとやっていけるような気がしてきました。皆さんもぜひ食べに来て下さい。

佐藤会員

土、日、月曜日と広島から友達に来て、別



府に住んでいると温泉の恵もうすらいで来ますが、友達朝から夕方迄一日8回程温泉めぐりで私の方は少し疲れ気味です。

梅津会員

毎年の花店のイベント「母の日」商戦も終わりほっと一息と云うところです。皆様ゴールデンウィークはいかがでしたか？私は、2日、3日、4日と東京へ行き歌舞伎座の五月11代目市川海老蔵襲名披露昼の部、夜の部と連チャンで一等席で見る事が出来、大変幸せでした。しかし、ゴールデンウィークの東京も人、人、人で並んで並んで、でした。この幸せに感謝してスマイル。  
木村会員

私と主人との共通の友人が一日おきに3人亡くなりました。皆さんガンでした。あらためてガンのこわさを知りました。やはり常に健康管理をして定期的に検査をする事が大事です。あらためて3人の冥福を祈りたいと思います。

私の甥が、「ママ、おじさんの友達が次々なくなり、ママが最後のひとり。おじさんの友達がいなくなったネ」ちょっとショックでした。  
土谷会員

今日は天気も良く、いつもとちがう昼食に感動しスマイルします。

溝部会員

連休中、晴耕雨読（聖子をくどく）の毎日でした。お陰様で山シャクヤクが元気になったようです。

森会員

新入社員（33才の男性）の「ワキガ」で悩んで居ました。ある薬剤師は“そら治らんで”とケンもホロロで鳴海先生に相談に行きました。なんと翌日からピタリと止まりました。感謝です。彼にとっては一生の問題でありました。

村津会員

4月6日例会のスマイルでお話しましたが、一気登山大会の事前準備中に、猪の瀬戸から塚原に行くエコラインの林道入口で、脱輪して難渋しておる私を助けて下さったパトカーの交通機動隊員3名の方へ御礼を申し上げる為、県警本部長を訪れ、やっと宿題を果たした気分です。「警察官は身近な力強い味方や」を実感した一コマでした。

大分県食品衛生協会と別府食品衛生協会の監査を、この程済ませました。今年も、また一段落でスマイル。

## 卓 話

『物の値段に想う』（要旨）

㈱さとうベネック 代表取締役副社長  
遠藤 洋太郎氏



消費者物価が4年2ヶ月振りに下げ止まったという報道があったが、依然デフレ傾向にある。現在の物価は1994年、10年前の水準にある。

商品単価の下落が企業収益を圧迫、企業はコスト低減のためリストラを断行し、人員削減や給与カットで凌いでいる。

結果として勤労者所得は減少、販売力は低下し「物価は下がっているのに、ものが売れない。」状況が続いている。

さらに深刻なのは資産デフレの進行。先般地価公示価格が開示されたが地価の低下が続いている。「半値8掛5割引」というが都市部ではピーク時の2割程度まで土地が暴落している。株価も一時1万2000円台を回復したが、平成元年12月29日の日経平均38,915円には遠く及ばない。

地価が下り続け、収益が悪化している状況の中で新たな投資意欲が湧くか。

日本の景気は民間設備投資と個人消費に支えられてきた。若干回復傾向にはあるものの、その両方が低迷している中で、本格的な景気回復はあり得ない。県内企業も68%が赤字に陥っている。

金融面から見ても、企業倒産や企業業績の悪化が貸出金償却や貸倒引当金の増加となり、株価低下による評価額の計上もあって銀行が赤字決算を余儀なくされ、自己資本が減少している。

海外営業拠点を有する銀行（BIS基準銀行）は8%、国内営業銀行は4%の自己資本比率をクリアしなければ、その水準によって業務改善命令あるいは業務停止命令が出されるから、銀行は自

己資本比率の維持に必死である。

銀行は貸出先をその財務内容によってランク付けしており、正常先、要注意先、要管理先、破綻懸念先、破綻先の5段階に「債務者区分」をしている。

要管理先になると貸出金の17%~18%、破綻懸念先には70%~75%相当の引当金を積まなければならない、この引当は貸出金の未保全部分に対して行なうものであるから、地価が下落し担保価値が低下すれば、貸出金残高は同じでも引当金の積増しが起きる。一方貸出金利はせいぜい3~4%であるから、人件費や物件費などの経費を含めて20円、破綻懸念先なら72~75円の原価がかかるものを3~4円で販売する計算になり、業績不芳企業に対する貸出を増やせば増やすほど収益が圧迫されることになる。しかも金融庁はこの債務者区分をより厳しくする様指示している。

よく「貸し渋り」「貸し剥がし」といわれるが貸すに貸せない状況に銀行が追い込まれている。業績不芳先に対する貸出を増せば銀行自身が潰れてしまう。

今迄の話で「何が言いたいか」というと、

第1に政府の景気対策が等閑にされており、あるいは間違っている。地価対策ばかり、デフレ対策ばかり。

第2に「金融システム安定のため」というお題目のもと、色んな金融政策が取られているが、目的とは裏腹にそれらが銀行経営を圧迫している。貸すに貸せない状況に銀行が追い込まれており、それが多発する企業倒産を招いている。

しかし銀行は貸出金が伸びなければ収益を確保できないので、リスクの少ない優良先に対しては貸出競争が起きており、いきおい価格(金利)競争が激化している。昔と違って取引先も金利の安い方へ走る傾向にあり、銀行勤務の折、支店長から「他行競合上」という理由で金利引下げの稟議が上がってきた。「君は余程能力がないのかお客様の信頼がないのかだな。金利以外にお客様に取引メリットを与えることが出来ないのか」という話をよくした。例えば財務改善指導による収益の向上、営業斡旋による売上の増加等々にお役に立て金利差以上のメリットを提供できればお客様は逃げない。金利(価格)競争に明け暮れているようでは銀行員失格である。

建設業界にあっても、公共工事の削減、民間設備投資の抑制から、受注時の価格競争が厳しい。他社にないノウハウ、他社に勝る品質、より優れたサービスを提供できない限り、生き残れない。これはどの業界も同じ、価格競争に振り回されれば自らの首を絞めることになる。

